

ジオパークとは？



ジオパーク (Geo Park) とは、ジオ (大地、地球) とパーク (公園) を組み合わせた言葉で、『大地の公園』とも呼ばれ、大地の成り立ち「地形・地質」を母体として、その上に広がる「生物・生態系」や「歴史・文化・産業」なども含めて展示物とみなした『大地の公園』のことです。

2022年2月現在、日本には46地域のジオパークが認定されており、その1つである『筑波山地域ジオパーク』(つくば市・石岡市・笠間市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市で協議会を構成) は2021年に審査を経て再認定され、SDGsにも通じる考えから、かけがえのない大地、ふるさとの大切さをお伝えしています。

例えば、山や川をよく見て、その成り立ちと仕組みに気づくと、今まで何とも思わなかった景色が変わって見えてきます。またその景色が、何千万年、何億年という途方もない年月をかけてつくられてきたことを知れば、私たち人の暮らしは地球活動なしには存在しえないことも分かります。



筑波山地域ジオパークは大きく分けて「山」「湖」「平野」の3つのゾーンから成り、26か所のいわゆるジオサイト (見どころ) を紹介しています。

かすみがうら市内には4か所のジオサイトがあります。



ゾーンから2か所

◇ 雪入・三ツ石

◇ 閑居山・権現山



ゾーンから2か所

◇ 歩崎

◇ 崎浜・川尻

詳しくは、裏面 (かすみがうら市の見どころ) 及び市役所両庁舎にある協議会の冊子、地図類をご覧ください。また、千代田庁舎玄関脇のパネル展示もご覧ください。

かすみがうら市の見どころ（ジオサイト）

かすみがうら市は、東に霞ヶ浦、西に筑波山系の山々を含む「湖山の地」です。この起伏に富んだ地形から多くの見どころがありますが、筑波山地域ジオパークでは4ヶ所をいわゆる「ジオサイト」として選んでいます。それぞれの魅力や見どころを紹介します。

歩崎ジオサイト

出島半島先端にある古刹「歩崎観音」へ上る表参道沿いには、約10万～8万年前に海面が低下した際に形成された地層が見られます。この地層を観察することで、周辺の環境が内湾（海）から干潟そして河川へと変化したことを理解することができます。また、歩崎は茨城県指定名勝の第1号としても知られ、歩崎観音境内の展望台からは、霞ヶ浦を一望することができます。



かすみがうら市は、帆引き船発祥の地としても有名です。現在、霞ヶ浦に面する土浦市、かすみがうら市などでは、帆引き船や帆引き網漁の保存・継承を目的とした観光帆引き船の操業などが定期的に実施されています。また、周辺には水産加工業者や地産地消の食材を扱う飲食店もあり、五感で「水」の恩恵を感じることができます。

崎浜・川尻ジオサイト

出島半島南岸では、約7千～6千年前の縄文海進時に形成された侵食崖がよく発達しています。崎浜・川尻の崖には、約13万～12万年前の古東京湾形成時のカキ化石床が露出しています。崎浜では、マガキがコロニーを形成していた様子やカキの島が波浪や潮流によって崩落した様子が分かります。このカキ化石床を含む地層を掘り抜いた、珍しい横穴墓が残っており、貴重な歴史遺産となっています。



川尻では、マガキが生息時の直立姿勢をとったまま埋積されており、「リレー戦略」と呼ばれるマガキが少しずつ泥に埋まりながら上方へ成長した様子を露頭で観察することができます。

雪入・三ツ石ジオサイト

雪入採石場跡地は、かつて採石中に燐灰ウラン石などの珍しい鉱物が日本で初めて発見された場所です。現在は自然公園となっており、ネイチャーセンターでは、周辺の動植物や様々な岩石や鉱物が展示・紹介されています。三ツ石森林公園では、もりの小屋を中心として、子供の広場や見晴らし広場、アスレチック広場や水の広場などの施設があり親子で楽しむことができます。



雪入や三ツ石の山中は、花崗岩・変成岩の露頭や奇岩・巨岩の宝庫です。ほかにも拾光寺観音や白滝不動等の山岳信仰を示す石造物があり、人とジオの関係を肌で感じることができます。春には「成沢の山桜」ではヤマザクラが咲き誇り、素晴らしい景観も魅力のひとつです。

そして、それらを巡るハイキングコースが設定されています。

閑居山・権現山ジオサイト

閑居山・権現山ジオサイトでは、花崗岩や変成岩等の石材を生かした歴史文化に触れることができます。閑居山周辺は、中世から願成寺という寺院が営まれていたことで知られています。山中では、花崗岩の巨岩に刻まれた「百体磨崖仏」をはじめ多数の石造物が残されており、独特の清浄な空気を感じることができます。

権現山は、眼下に恋瀬川周辺の大地を見晴らす景勝の地です。そのため、陸軍大演習の際には昭和天皇の御統監にも用されました。また、権現山には謎に満ちた山城の跡が残されています。尾根を分断する土塁と堀、そして崖のように高くそびえる変成岩の露頭は、「ジオ城」とでも表現できる威容を誇っています。

